

独立行政法人

農畜産業振興機構



畜産業振興事業

平成21年度国産牛乳・乳製品高付加価値化推進事業

上海からのツアー客に対する 国産牛乳の試飲及びアンケート調査

最終報告書

平成22年3月

社団法人日本酪農乳業協会

目次

I.	調査概要	P.4
II.	調査結果サマリ	
II-1.	調査結果まとめ	P.7
II-2.	調査結果詳細	P.9
	➤ 対象者属性	P.10
	➤ 日本の牛乳のイメージ	P.11
	➤ 日本の国産牛乳の味評価[試飲後]	P.14
	➤ 日本の国産牛乳が美味しいと思う理由	P.16
	➤ 日本の国産牛乳が美味しいと思わない理由	P.18
	➤ 日本の牛乳と中国の牛乳の味、品質の比較	P.19
	➤ 日本の牛乳の販売意向	P.21

始めに

今までの調査で確認できたこと

- ◆ 2006～2008年度の「中国乳製品に関する調査」を実施し、
 - ・中国沿岸都市部では近年急速にチルド牛乳が普及
 - ・試飲により、日本国産牛乳の相対的な優位が見られた
 - ・海外ブランドや高品質を謳う牛乳の出現によって日本産牛乳との価格差縮小
 - ・日本の認知度の上昇に伴う日本産牛乳の受容性の経年的な上昇傾向などを確認することができた。

2009年度の調査課題:

- 中国消費者における日本国産牛乳の受容性を再確認。
 - 日本国内で、日本の風景を感じた上で日本国産牛乳の評価を得る。
- ⇒ これにより、今後の輸出促進活動に有効な継続的な基礎情報を提供する。

I . 調查概要

調査概要

■ 調査背景：

- 日本酪農乳業協会は日本産乳製品の輸出拡大事業を展開中である。
- 中国上海において、すでに日本産牛乳の受容性調査を実施し、高評価を得られている。

■ 調査目的：

- 本企画では、上記事業の一環として、中国から日本に旅行で来るツアー観光客に日本産牛乳を試飲していただき、宣伝活動の推進を図る。
- 同時に、飲用後のアンケートを通して評価取得をも目的とする。

■ 調査方法：旅行代理店を経由して、ツアー旅行客に牛乳の試飲とアンケートの回答を依頼する

- ① ツアー客が宿泊するホテルに牛乳とアンケートを保管する
- ② ツアーガイドが出発当日の朝に牛乳とアンケートをホテルより受取、ツアー客が乗用するバス内で、牛乳とアンケートを配布する
- ③ バス内で、牛乳を試飲してもらった後、アンケートにも回答してもらう

■ サンプル数：518

■ 実施期間：

- 調査実施期間： 2009年10月31日～2010年2月18日
- データ入力と集計期間： 2010年2月9日～17日（221s） 2月19日～2月25日（297s）
- 一時報告 2010年2月24日
- 最終納品： 2010年3月5日

Ⅱ．調査結果サマリ

Ⅱ-1. 調査結果まとめ

調査結果まとめ

◆ 日本牛乳のイメージ:

- 全体的に、「新鮮なイメージ」が5割強で最も高い。次いで、「品質がよい」「美味しそう」が続く。
- 男女別で見ると、女性では「美味しそう」のイメージが高い。
- 年代別で見ると、年代別に評価のばらつきが見られる。
20歳未満の若い層では「品質が良い」「美味しそう」のイメージが高く、
20代では「新鮮なイメージ」「品質が良い」「製品に安心感が持てる」が高い。また、50代では「製品の安全性が高い」のイメージが他の年代に比べて低い。

◆ 日本牛乳の味評価:

- 全体的に、「とても美味しい」「美味しい」を合わせると65%、過半数に評価されている。
- 男女別で大きな差は見られない。一方で、年代別で見ると30代以上では「とても美味しい」「美味しい」を合わせると年代が上がるにつれ評価が高くなる傾向が見られる。

◆ 日本牛乳の美味しいと思う理由:

- 全体的に、「新鮮な感じ」が7割で最も高く、次いで「味が濃厚」(5割)「嫌な臭みがない」(3割強)が続く。
- 男女別で見ると、女性では「嫌な臭みがない」と回答した人の割合が高い。
- 年代別で見ると20代未満の若い層では「嫌な臭みがない」のイメージが高く、60代以上で「新鮮な感じ」のイメージが高い。

◆ 日本牛乳と中国牛乳の味・品質比較:

- 全体的に、「日本の牛乳の方が美味しい」「どちらかと言うと日本の牛乳の方が美味しい」を合わせると4割強の人は日本の牛乳が美味しいと回答。
- 男女別では大きな差は見られない。一方で、年代別では60代以上で日本の牛乳と中国の牛乳の品質について差ほど違いはないと感じた人が52.8%と過半数を占める。

◆ 日本牛乳の購買意向:

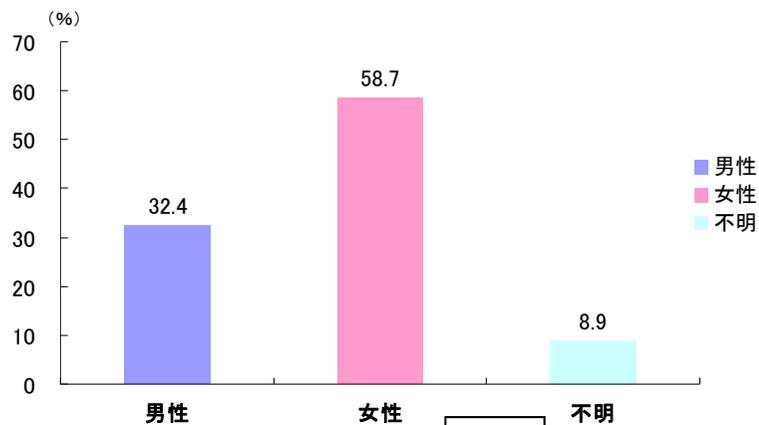
- 全体的に、「是非購入したい」「できれば購入したい」を合わせると5割強の人が購入したいと回答。
- 男女別では大きな差は見られない。
- 年代別では、特に20代未満の若い層で購入したい(「是非購入したい」「できれば購入したい」)人の割合が高い。

Ⅱ-2. 調査結果詳細

対象者属性

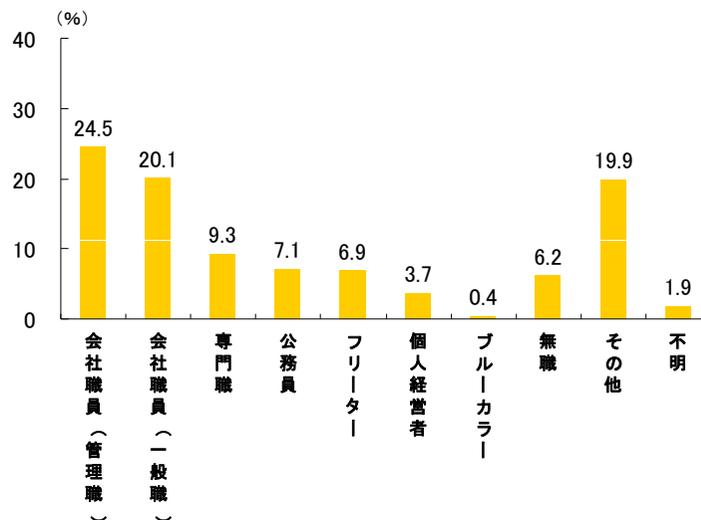
性別

n=518



職業

n=518



表頭 - 年齢
表側 - 性別

n=472

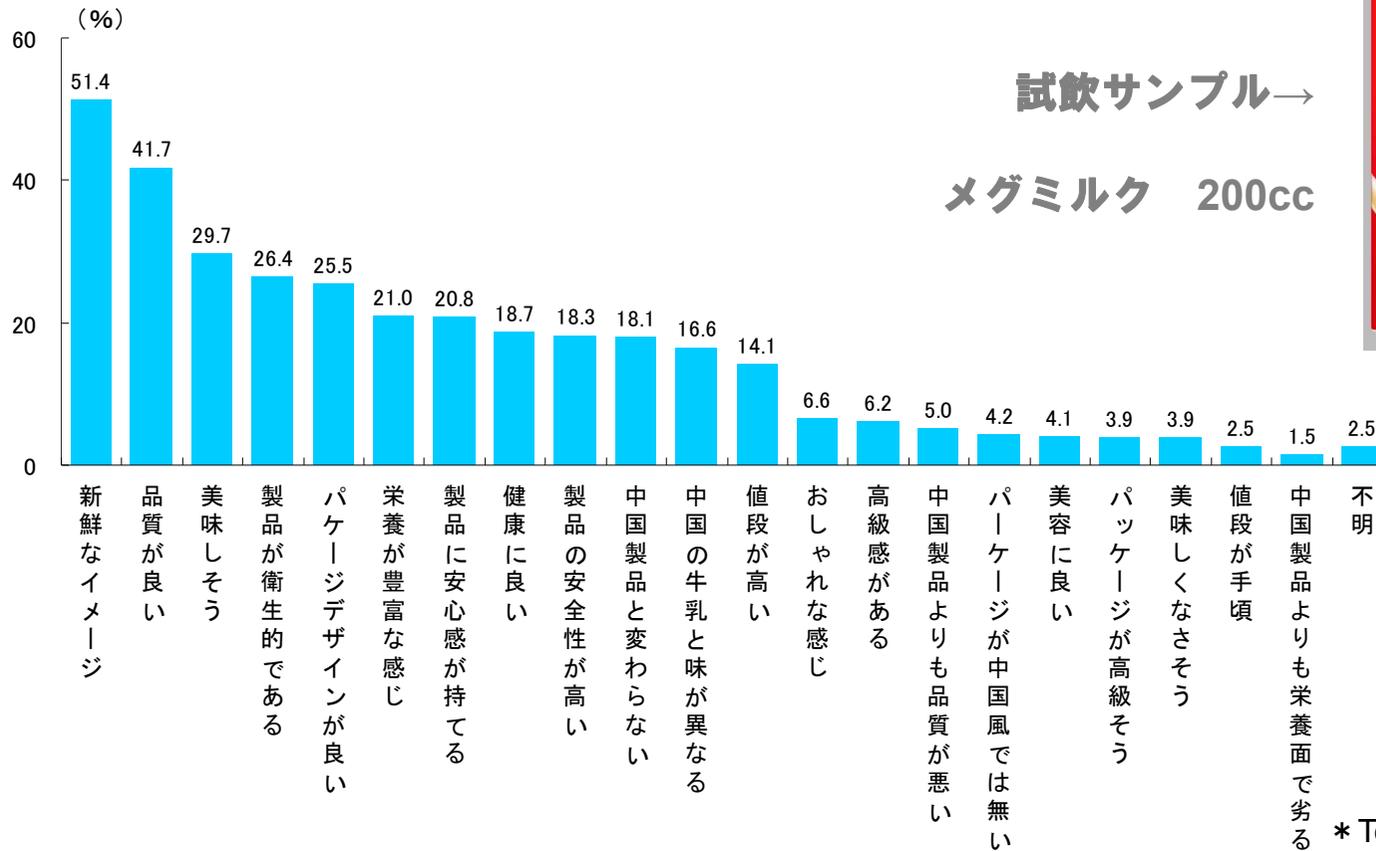


日本の牛乳のイメージ Total

- 日本の牛乳のイメージを見ると、「新鮮なイメージ」が5割強で最も高い。次いで、「品質がよい」「美味しそう」が続く。

Q1 日本の牛乳のイメージ(MA)

n=518



試飲サンプル→

メグミルク 200cc

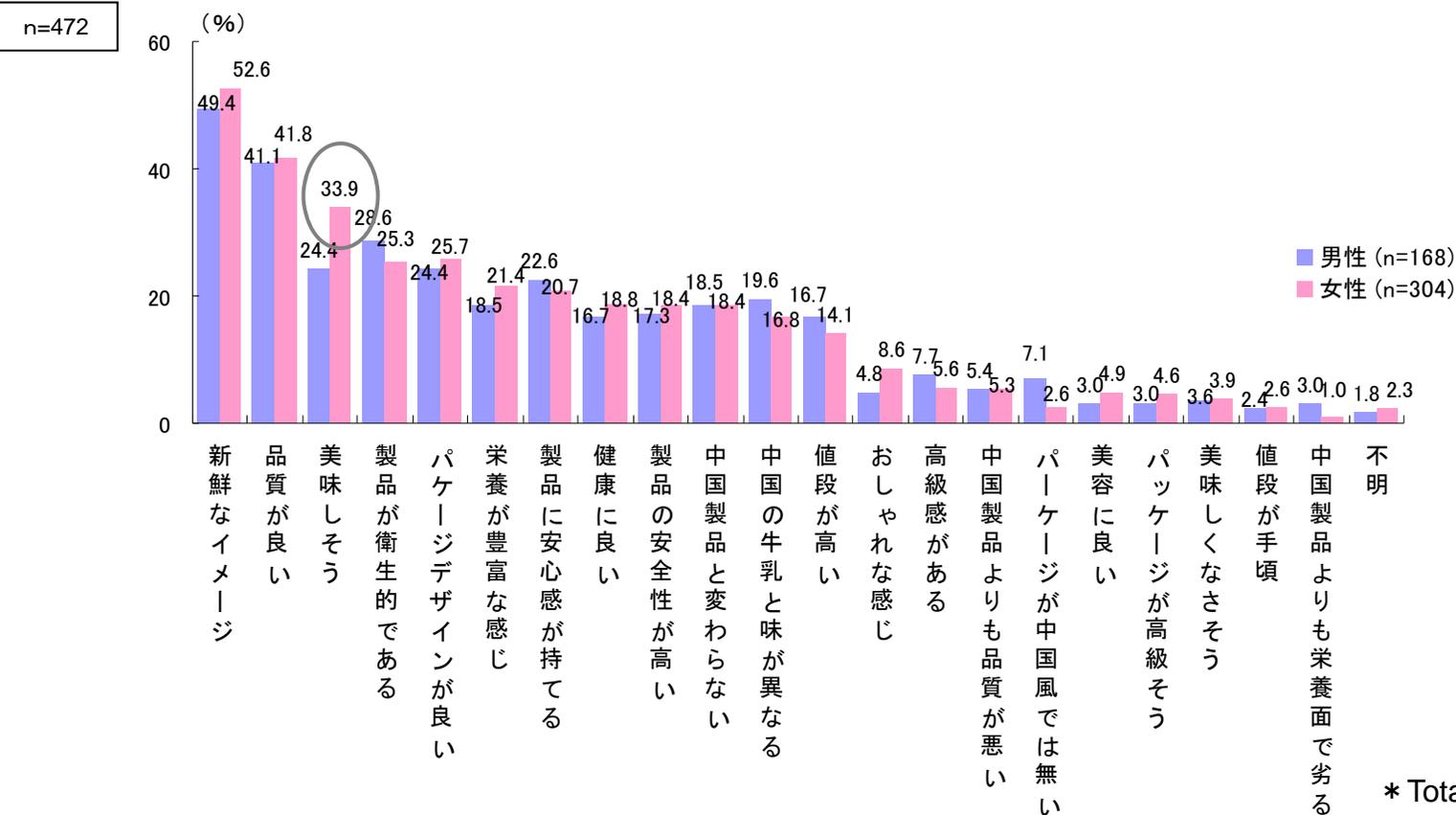


* Totalの高い順にソート

日本の牛乳のイメージ 男女別

- 日本の牛乳のイメージを男女別で見ると、女性では「美味しそう」のイメージが高い。

表頭 - Q1 日本の牛乳のイメージ(MA)
表側 - 性別

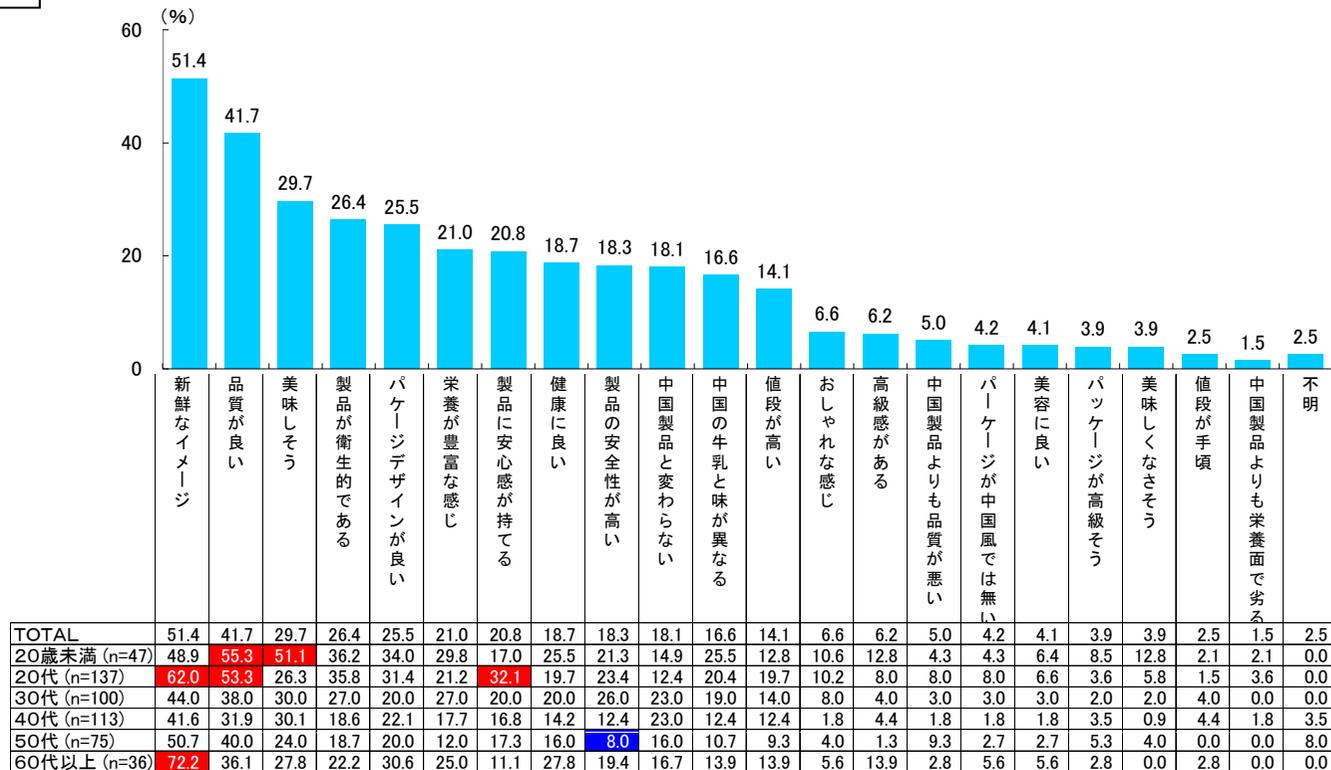


日本の牛乳のイメージ 年代別

- 日本の牛乳のイメージを年代別で見ると、20歳未満の若い層では「品質が良い」「美味しそう」のイメージが高く、20代では「新鮮なイメージ」「品質が良い」「製品に安心感が持てる」が高い。また、50代では「製品の安全性が高い」のイメージが他の年代に比べて低い。

表頭 - Q1 日本の牛乳のイメージ(MA)
表側 - 年代

n=508



+10%以上
-10%以上

* Totalの高い順にソート

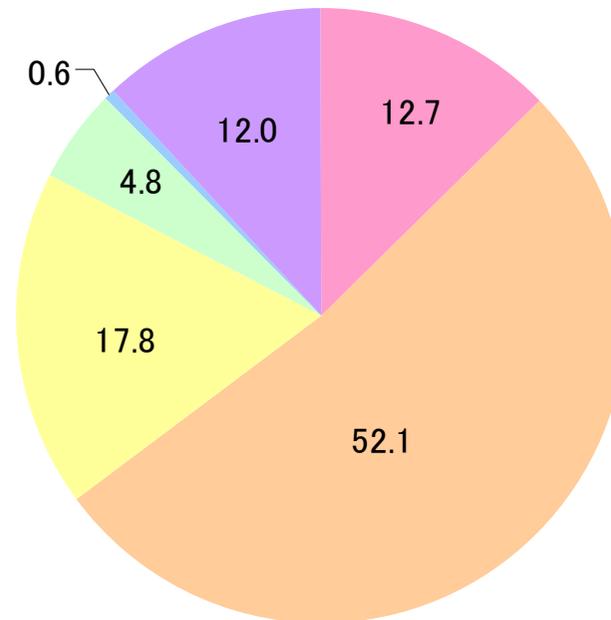
日本の国産牛乳の味評価[試飲後]

- 日本の国産牛乳の味評価について、「とても美味しい」「美味しい」を合わせると65%、過半数に評価されている。

Q2 日本の国産牛乳の味[試飲後]

n=518

とても美味しい(+2) 美味しい(+1) どちらともいえない(±0)
美味しくない(-1) まったく美味しくない(-2) 不明 (%)



日本の国産牛乳の味評価[試飲後]

- 日本の国産牛乳の味評価について、男女別で大きな差は見られない。一方で、年代別で見ると30代以上では「とても美味しい」「美味しい」を合わせると年代が上がるにつれ評価が高くなる傾向が見られる。

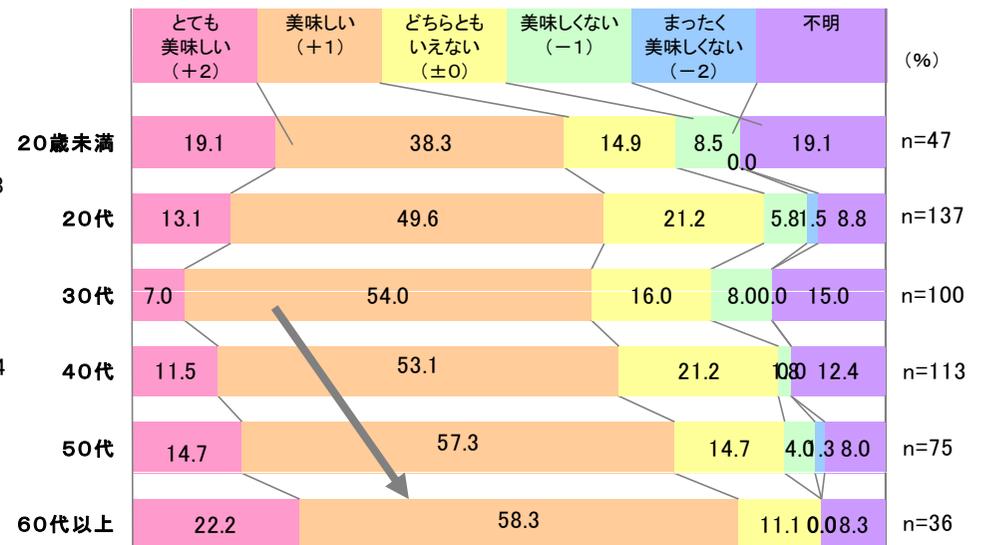
表頭 - Q2 日本の国産牛乳の味[試飲後]
表側 - 性別

n=472



表頭 - Q2 日本の国産牛乳の味[試飲後]
表側 - 年代

n=508



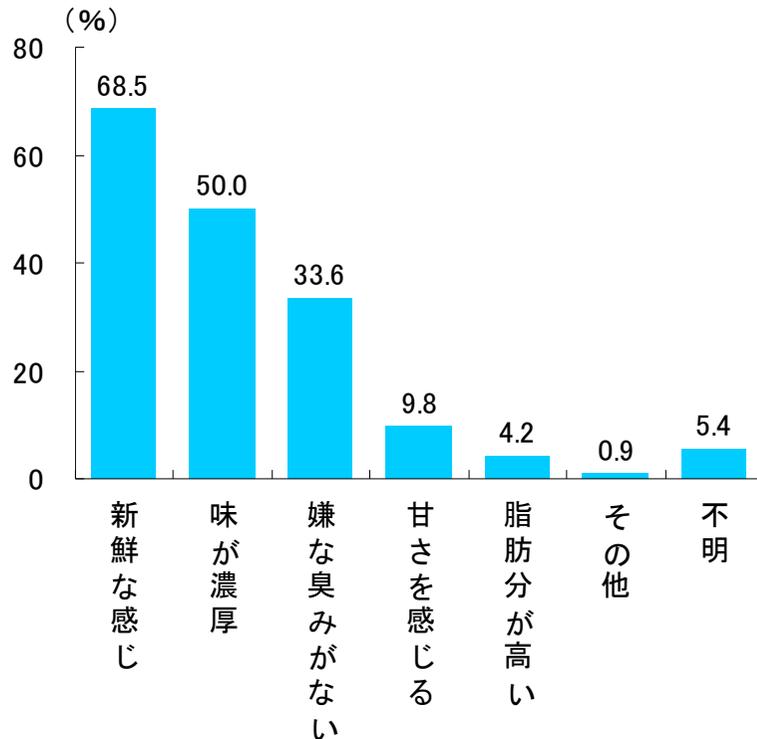
日本の国産牛乳が美味しいと思う理由

【ベース:とても美味しい～美味しいと答えた方】

- 日本の国産牛乳が美味しいと思う理由では、「新鮮な感じ」が7割で最も高く、次いで「味が濃厚」(5割)「嫌な臭みがない」(3割強)が続く。
- 男女別で見ると、女性では「嫌な臭みがない」と回答した人の割合が高い。

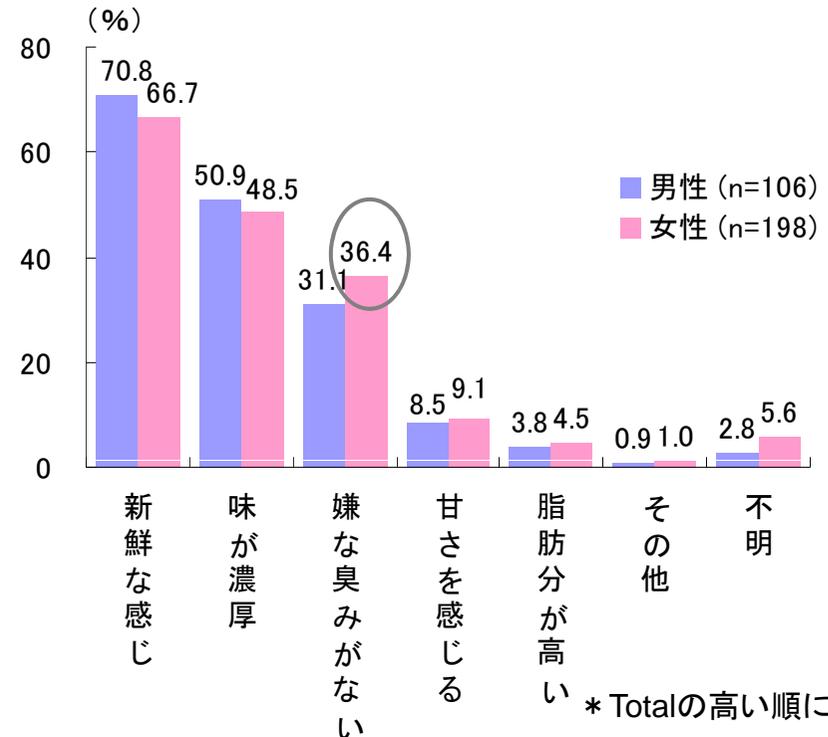
Q3 日本の国産牛乳が美味しいと思う理由
(MA)【ベース:とても美味しい～美味しいと答えた方】

n=336



表頭 - Q3 日本の国産牛乳が美味しいと思う理由
(MA)【ベース:とても美味しい～美味しいと答えた方】
表側 - 性別

n=304



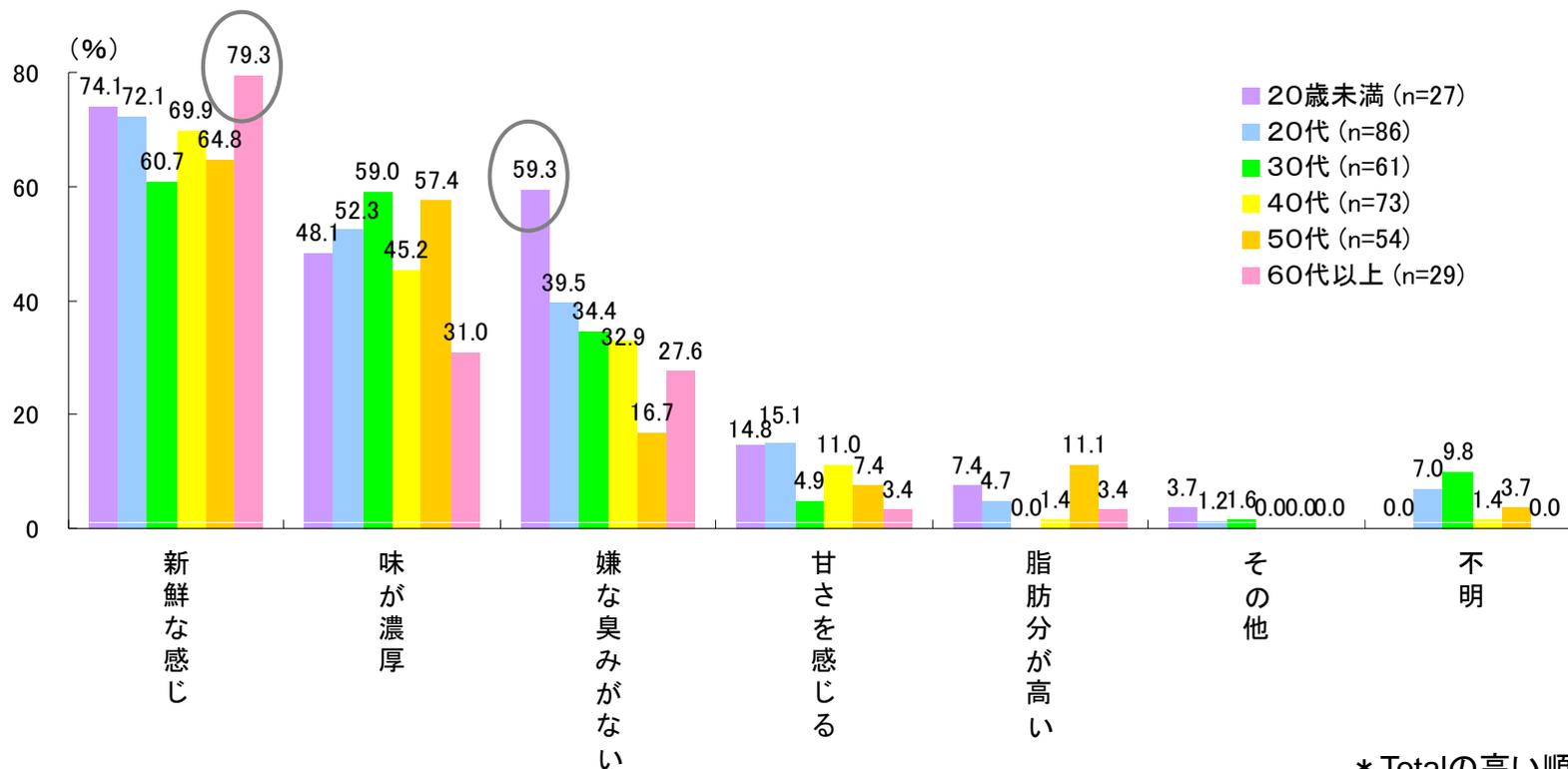
日本の国産牛乳が美味しいと思う理由

【ベース:とても美味しい~美味しいと答えた方】

- 日本の国産牛乳が美味しいと思う理由について、年代別で見ると20代未満の若い層では「嫌な臭みがない」のイメージが高く、60代以上で「新鮮な感じ」のイメージが高い。

表頭 - Q3 日本の国産牛乳が美味しいと思う理由 (MA)【ベース:とても美味しい~美味しいと答えた方】
表側 - 年代

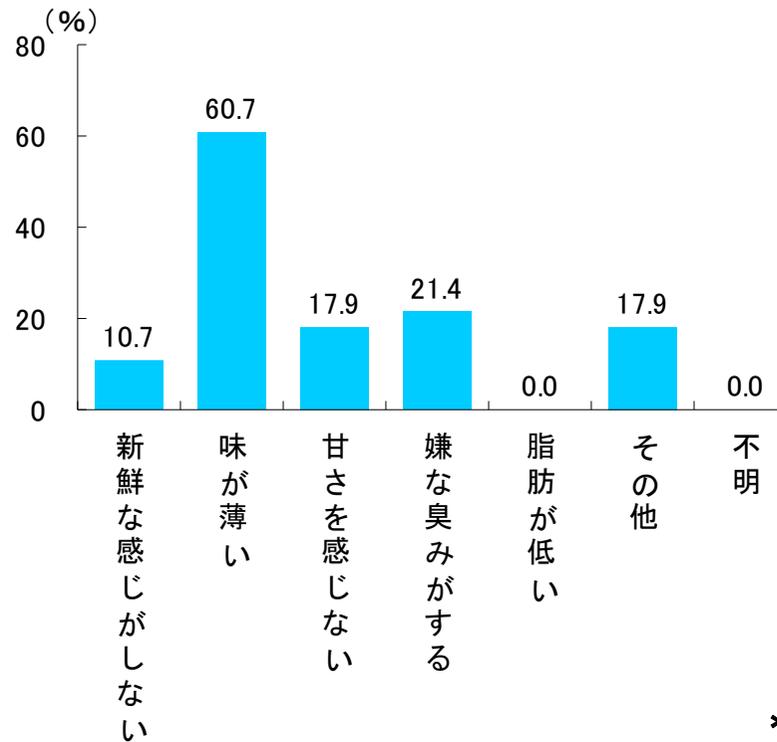
n=330



日本の国産牛乳が美味しいと思わない理由 【ベース:美味しくない～全く美味しくないと答えた方】

Q3 日本の国産牛乳が美味しいと思わない理由
(MA)【ベース:美味しくない～全く美味しくないと答えた方】

n=28



* サンプルが少ないため、参考値

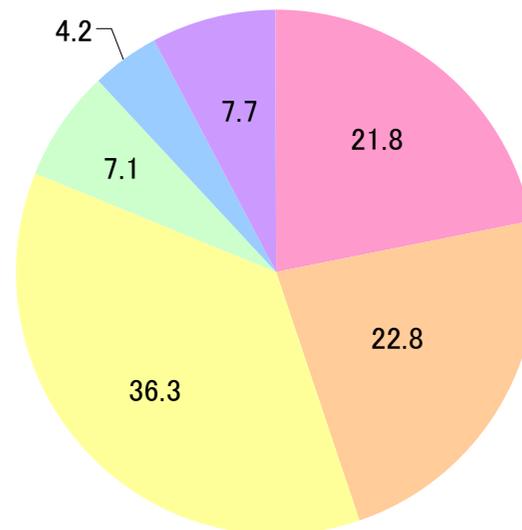
日本の牛乳と中国の牛乳の味、品質の比較

- 日本の牛乳と中国の牛乳の味比較では、「日本の牛乳の方が美味しい」「どちらかと言うと日本の牛乳の方が美味しい」を合わせると4割強の人は日本の牛乳が美味しいと回答。

Q5 日本の牛乳と中国の牛乳の味、品質の比較 SA

n=518

■ 日本の牛乳の方が美味しい
■ どちらも同じ
■ 中国の牛乳の方が美味しい
■ どちらかと言うと日本の牛乳の方が美味しい
■ どちらかと言うと中国の牛乳の方が美味しい
■ 不明 (％)

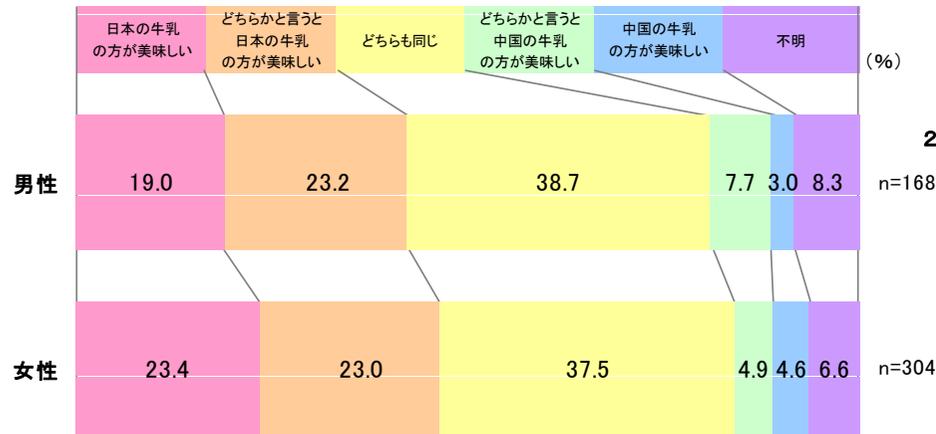


日本の牛乳と中国の牛乳の味、品質の比較

- 日本の牛乳と中国の牛乳の味比較について、男女別では大きな差は見られない。一方で、年代別では60代以上で日本の牛乳と中国の牛乳の品質について差ほど違いはないと感じた人が52.8%と過半数を占める。

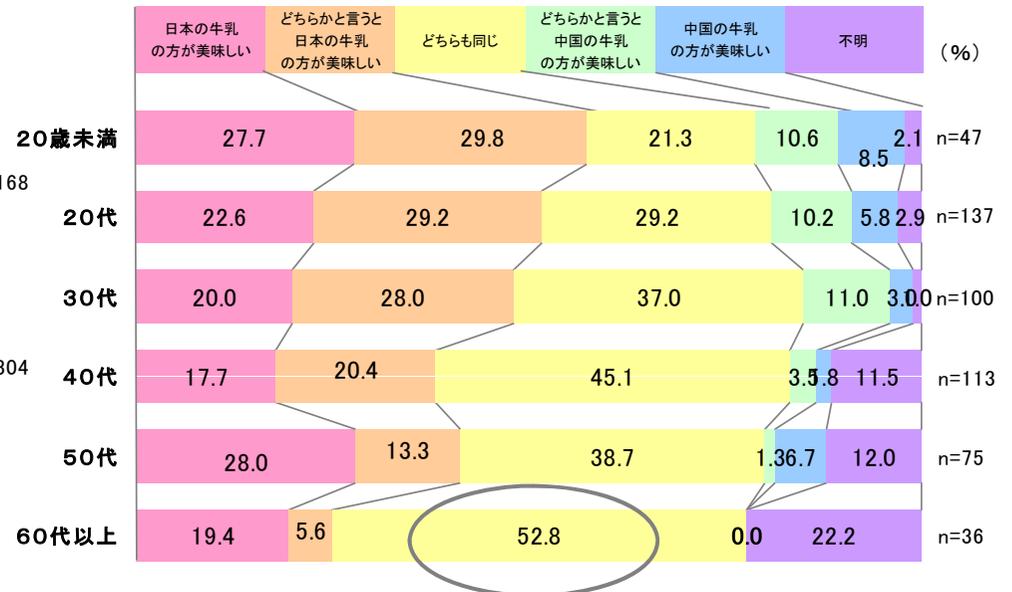
表頭 - Q5 日本の牛乳と中国の牛乳の味、品質の比較 SA
表側 - 性別

n=472



表頭 - Q5 日本の牛乳と中国の牛乳の味、品質の比較 SA
表側 - 年代

n=508

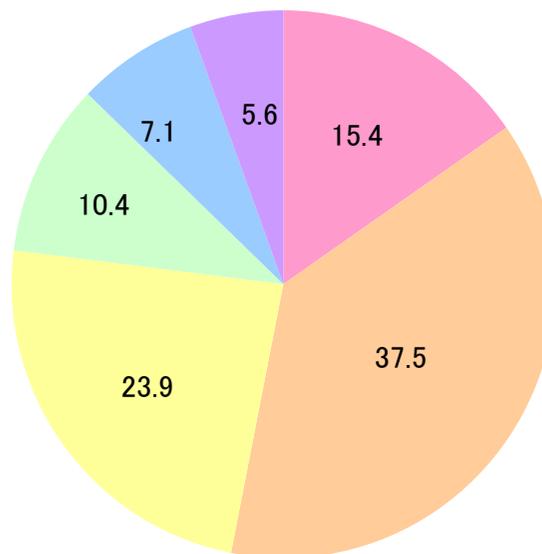


日本の牛乳の販売意向

- 日本の牛乳の購買意向では、「是非購入したい」「できれば購入したい」を合わせると5割強の人が購入したいと回答。

Q6 日本の牛乳の購入意向 SA

n=518

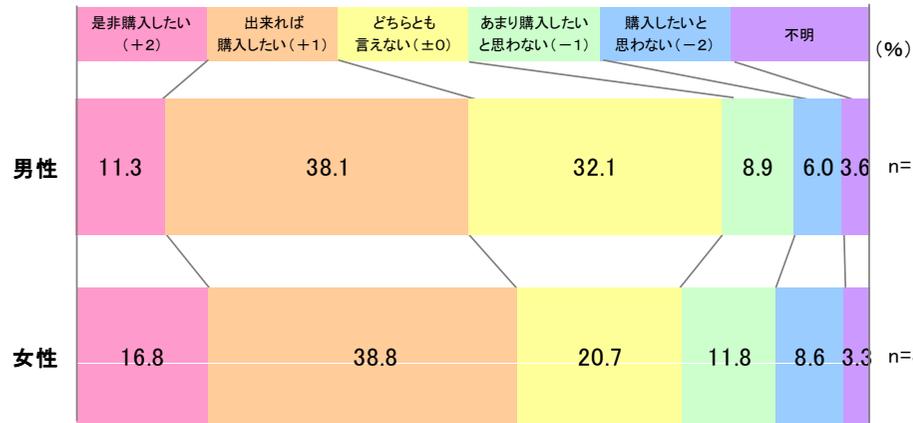


日本の牛乳の販売意向

- 日本の牛乳の購買意向について、男女別では大きな差は見られない。年代別では、特に20代未満の若い層で購入したい(「是非購入したい」「できれば購入したい」)人の割合が高い。

表頭 - Q6 日本の牛乳の購入意向 SA
表側 - 性別

n=472



表頭 - Q6 日本の牛乳の購入意向 SA
表側 - 年代

n=508

